

5年目を迎えた長崎さるく

2006年4月から10月の約半年間開催された「日本で初めてのまち歩き博覧會長崎さるく博'06」から始まったまち歩き観光「長崎さるく」は、丸5年が経過し、長崎の町の知られざる魅力を紹介し、観光客と長崎市民が触れ合う長崎観光のスタイルとして定着してきている。そこで、長崎さるくのこれまでの経緯と現状、今後の展望をまとめた。

1. これまでの経緯

(1) 長崎さるく博'06の概要

「長崎さるく博'06」は観光動向の変化（団体型から個人・小グループ型へ、物見遊山から体験型へ、男性から女性へなど）への対応策が求められるなか、長崎市が市民参加型のイベントとして取り組んだものである。04年（32日間）、05年（79日間）のプレイベントを経て、06年に212日間にわたって開催された「さるく博」ではまち全体をパビリオンとみなしたまち歩きの基礎イベント（「遊さるく」42コース、「通さるく」31コース、「学さるく」74テーマ）や会場イベントなどが実施された。このとき企画・運営に関わった市民は延べ人数で約3万人（うちプロデューサー95人／さるくガイド325人ほか）にも上った。

延べ参加者数は1,023万人（うち観光客数776万人）に達し、期間中の観光客数は前年同期比6.6%増となった。また、経済波及効果は865億円に上り、その他にも「まちに興味を持つ人が増加した」、「人財が発掘された」、「まちがきれいになった」等、いろいろな波及効果をもたらした。

(2) 07年度から「長崎さるく」としてスタート

こうした「長崎さるく博'06」の成功を受けて、長崎市は「まち歩き」を観光施策の主力として位置付け、通年実施型の「長崎さるく」を07年度より開始した。さるくガイドによる「通さるく」のコース数はさるく博当時の31コースから順次拡充し、10年度は期間限定通さるくを含め60コース近くとなった。

3つのまち歩きメニューの概要

長崎遊さるく	長崎通さるく	長崎学さるく
マップ片手に自由気ままに長崎散策	長崎名物・ガイドツアー	長崎ならではの体験
予約不要	予約制	予約制
無料	費用は中学生以上500円	費用はさまざま
さるくコースマップの配布	行程 約2km、2時間 定員15名 オーダーさるくへの対応可	まち歩きに専門家の講座をプラス テーマは歴史・自然・食など、バラエティ豊か

資料：長崎市さるく観光課

09年度からは毎年テーマを設定しており、09年度「長崎さるく幕末編」、10年度「長崎さるく英雄編」と、コース・コンテンツ開発に工夫を凝らしてきている。また、09年度の幕末編に合わせて幕末及び龍馬ゆかりの地を明らかにするため、土佐商会跡など4カ所の既存の石碑に幕末モニュメントを作製し、歩いて楽しいまちづくりとして、龍馬ら幕末の志士や游学者が往来した長崎街道を起点に居留地までを結ぶ歴史浪漫溢れる2.71kmの一本道を「長崎龍馬の道」と名付けて新たな魅力・コンテンツの開発を進める等、長崎さるくと連動する形で市内の観光インフラの整備や観光資源の掘り起こしが進められてきている。

(3) 長崎さるくへの参加者の推移

①参加者数は

最も参加者数が多い「遊さるく」については、その性格上参加者数を把握するのが難しいが、「遊さるく」に関するホームページのアクセス数やさるく関連の印刷部数の推移が参考となる。まずアクセス数は07年度は13万件、08年度も14万件だったものが09年度には25万件と倍増し、10年度も24万件に上っている。また、無料で配布される「さるくコースマップ」も07年度の85万部から10年度には150万部と大幅に部数を伸ばしており、観光客のまち歩きツールとして定着していることがうかがえる。もっとも、有料で販売されている「さるくマップブック」については08年度7,725冊、09年度7,948冊、10年度5,740冊という販売実績となっており伸び悩んでいる（図表1）。

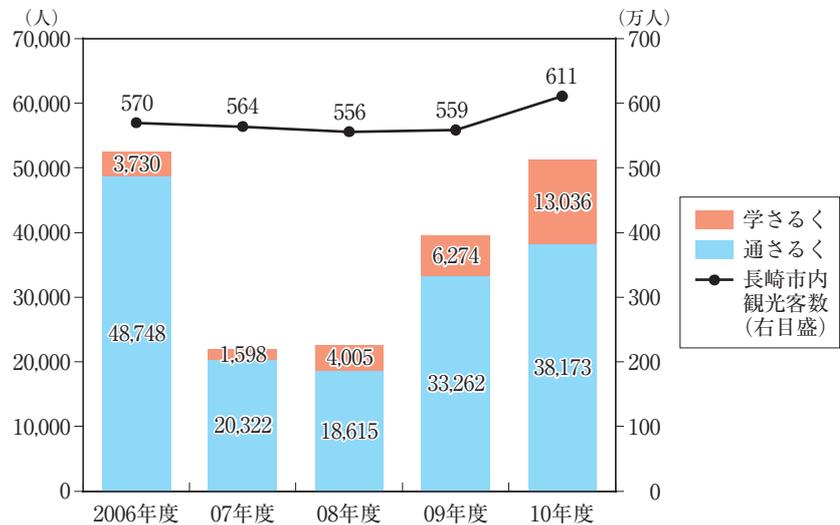
図表1 遊さるくに関する参考計数の推移

	2006年度	07年度	08年度	09年度	10年度
遊さるくに関するHPアクセス数	—	131,430	140,903	252,867	241,468
さるくコースマップ印刷部数（千部）	4,000	854	1,147	1,040	1,500
さるくマップブック販売冊数	—	—	7,725	7,948	5,740

資料：長崎市さるく観光課、長崎国際観光コンベンション協会

一方、「通さるく」、「学さるく」というガイド付き・有料コースについてはデータが揃っていることから、この両コースについてみてみよう。「長崎さるく博'06」では、「学さるく」と「通さるく」に5万人を超える参加者(52,478人)があったが、07~08年度は2万人台前半まで減少した。しかし、参加者数増加への工夫を重ねた結果、09年度は約4万人まで増加し、10年度は龍馬伝効果もあって5万人を突破し06年度並みになった(図表2)。

図表2 長崎さるく参加実績

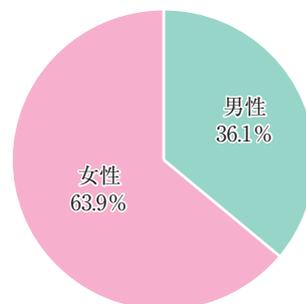


資料：長崎市さるく観光課

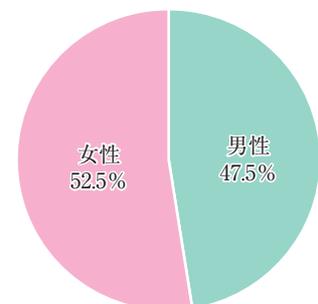
②参加者の特徴は

通さるく・学さるくへの参加者の特徴を「長崎さるく博'06」と10年度の実績を比較すると、まず、男女比は「長崎さるく博'06」当時では男性36.1%、女性63.9%と女性の参加割合が高かったものが、10年度は男性47.5%、女性52.5%と大きな差はなくなっている(図表3)。また、年齢構成をみると、「長崎さるく博'06」当時では50代(26.3%)と60代(21.9%)でほぼ半数を占めていたが、10年度は20代から60代までの各年齢層とも10%台となっており、満遍なく集客できていることがうかがえる。もっとも、年齢層が上がるにつれて構成比も上昇し60代が19.1%で

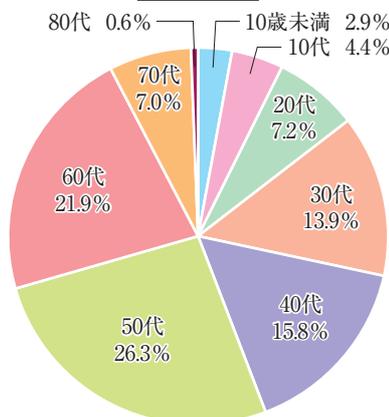
図表3 参加者の男女別構成



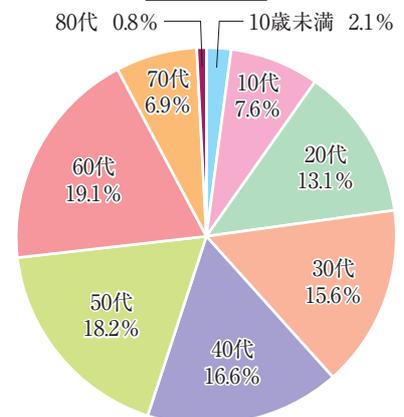
2010年度



図表4 参加者の年齢別構成



2010年度



資料：長崎市さるく観光課

最も高い（図表4）。

一方、出身地別にみると、「長崎さるく博'06」当時では長崎県内からの参加者が69.6%、県外からの参加者が30.4%だったのに対して、10年度は長崎県内が29.7%（うち長崎市22.3%）、県外が70.3%と、県内と県外からの参加者割合が逆転している。県外の内訳は福岡を始めとした九州・沖縄が28.5%を占め、関東が16.2%、中国・四

図表5 2010年度出身地別参加者数

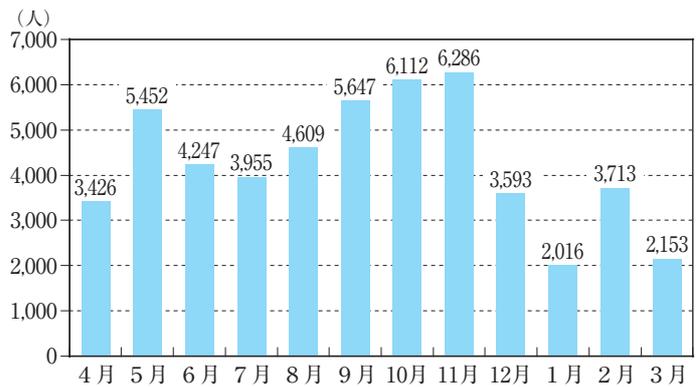
長崎県		13,860	29.7%
	長崎市	10,391	22.3%
九州・沖縄（長崎県外）		13,307	28.5%
	福岡県	7,296	15.6%
	大分県	1,687	3.6%
	熊本県	1,679	3.6%
	佐賀県	1,367	2.9%
中国・四国		4,101	8.8%
近畿		3,398	7.3%
	大阪府	1,630	3.5%
中部		3,072	6.6%
	愛知県	1,576	3.4%
関東		7,573	16.2%
	東京都	3,898	8.4%
	神奈川県	1,433	3.1%
北海道・東北		1,033	2.2%
海外		338	0.7%
合計		46,682	100.0%

資料：長崎市さるく観光課

州・沖縄が28.5%を占め、関東が16.2%、中国・四国が8.8%などと続いている（図表5）。

また、月別の参加数をみると、10年度については、龍馬伝効果もあって9～11月は6,000人前後の参加者となり、2月も新たなコースの追加により4,000人弱の集客となった（図表6）。

図表6 2010年度月別参加者数

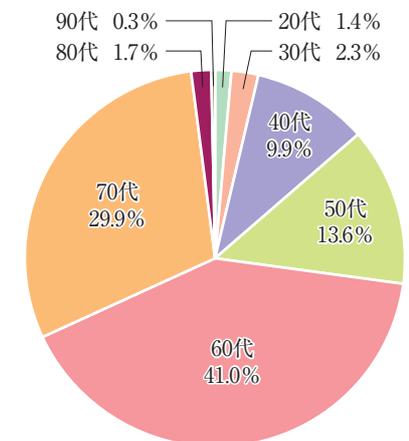


資料：長崎市さるく観光課

（4）さるくガイド

長崎さるくを支えるのがボランティアでガイドを務める「さるくガイド」である。長崎さるく博で活躍した325人のさるくガイドはその後も概ね継続してガイドに当たっており、長崎国際観光コンベンション協会に登録しているガイドはその後の増加もあって現在430名ほどとなっている。登録しているのは中高年を中心とした市民であり、とくに60代、70代が7割を占めている（図表7）。通さるくは年末年始を除くほぼ毎日設定され、10年度の延べガイド人数は7,187人、ガイド回数が多い人は年間200回程度にも上っている。

図表7 さるくガイド年齢別構成



資料：長崎国際観光コンベンション協会

(5) 人気コースおよび観光客の評価

10年度の通さるくの人気コースを参加者数からみるとその順位は下表のとおりで、10コース中5コースが龍馬関連のコースである一方、観光客のニーズに合わせ場所、時間を決定できるオーダー型にも2,726人の参加があった。

人気コース

	コース名	参加者数 (人)
1	龍馬が見上げた長崎の空～風頭から亀山社中跡へ～	20,644
2	龍馬と弥太郎が幕末舞台で待っとるばい	1,994
3	ある晴れた日に、龍馬が夢見た長崎居留地	1,884
4	アンゼラスの鐘の丘を訪ねて	1,133
5	夕陽が美しいキリシタンの里	879
6	勝麟と風雲児。出会いは、まさに維新伝心！	808
7	出島タイムスリップ	682
8	長崎は今日も異国だった	681
9	海外へ志アル者、此隊ニ入ルカ海援隊ノ心得を知る	430
10	懐具合も思案する？丸山ぶらぶら愛八さんの華舞台	408

その他

	オーダー型	2,726
--	-------	-------

資料：長崎市さるく観光課

長崎さるくに対する観光客の評価については、09年「長崎さるく幕末編クライマックス」の通さるく参加者アンケートの結果がある。それによると、ガイドの印象は「(非常に)よかった」が96.3%、コースの印象は「(大変)満足」が94.4%と非常に評価が高く、また、通さるくへの参加回数を尋ねたところ、「5回以上」が45.5%（1回目は36.0%）を占め、リピート率が高いことがわかる。

2. 2011年度のさるく

5年を経過した今年度、長崎国際観光コンベンション協会が中心となり、「祝5周年！愛あふれるまち歩き」をテーマに長崎さるくを磨き上げ、魅力アップに取り組んでいる。

(1) コース

①通さるく的全コース見直し・リニューアル

まずひとつは、さるく開始から5年を経過し同じコースでは飽きられることから、新たなコー

スづくりを求め民間を含めた検討委員会でコースの変更や改善を行った。遊さるくを53コースから45コースに見直し、そのなかからガイド付きの通さるく29コースを決定した。

②食さるく

2つ目は「食さるく」の導入である。これは「学さるく」から発展し、長崎ならではのバラエティに富んだ「和・華・蘭」食文化を紹介し、さらに奥深い長崎の魅力を体験することができるさるくのこと。食の達人による講座、とっておきの食事、お菓子作り体験などのコースやイベントを4月から12月にかけて長崎市の「ながさきの食推進室」と共同し、また同時期に開催される長崎県のイベント「長崎食KING王国」とも連携し、約100回開催するとしている。

③ナイトさるく

3つ目はナイトさるくで、夜間の観光客数の増加を図り、宿泊者数の伸びにもつなげる。今年4月に全面リニューアルした稲佐山展望台や女神大橋などの絶景夜景スポットを巡る「夜景鑑賞バス」を8、9、11月に運行することにしており、各便には「長崎夜景ナビゲーター」が乗り、ガイド役を務める。

④子供さるく

4つ目は、「さるく」を地域へ一層浸透させるための手段の一つとして取組む子供さるくである。現在36名の小学生が“長崎TO(つう)キッズ”として登録。総合学習の時間を利用し、子供が夏休み期間中にまちを案内する。将来の長崎観光を担う人材の育成として期待される。

(2) 外国人向けサービスの強化

長崎にはクルーズ船の観光客を含め、多くの外国人観光客が訪れるが、なかでも数が多い中国、韓国、英語圏からの観光客へのサービスを強化することとしている。興味を持ってもらえるような項目を中心に掲載した地図を作製するほか、それぞれの国に応じたガイドの育成に注力することにしており、長崎国際観光コンベンション協会では、語学ができる人を対象にコースを限定してガイドを募集することとしている。

また、スマートフォンで韓国語の観光案内情報を発信するサービスも開始された。これは、一般的な観光情報に加え、現在位置周辺のガイド機能、翻訳機能などを備え、ガイドブックの代わりに使ってもらえることも可能なもので、九州を訪れる外国人観光客の半数を占める韓国人観光客の誘致促進につなげる。

(3) さるくガイドの育成

毎年新しいさるくガイドが生まれ、さるくに関わる人が増えていくことは長崎さるくの発展に欠かせないものである。そのガイドも歴史・文化に専門的になりすぎず、観光客に長崎の魅力を

伝え楽しんでもらうことが必要であり、ガイド技術の向上も重要なテーマとなっている。そこで、長崎国際観光コンベンション協会では年3～4回開くさるくガイド全員を対象とした全体会議にあわせて、モチベーションの維持・向上やガイド技術のレベルアップを図るため、マナー研修、歴史の勉強会、情報交換などを行っている。また、さるくガイドの間でも班が結成され、班の中でまたは班合同の自主的な勉強会も開かれるなど、自発的な活動がみられる。

(4) 龍馬関連

このほか、龍馬観光の定着を図るため、長崎まちなか龍馬館が11年4月1日にリニューアルオープンした。また、坂本龍馬が亀山社中を結成し、「坂本龍馬之像」が建立された5月を「長崎龍馬の月」とし、龍馬にまつわるイベントが実施された。

まとめ

長崎さるくを今後も発展させていくにはいくつかのポイントが考えられる。ひとつはコースの掘り起こしやイベントの充実であり、そのためには民間業者が自社のPRにも役立ち、自由に参画できる仕組みを構築することが重要となっている。魅力あるコースについては高額であっても参加が見込まれるというのも一つの考えである。

また、県外の観光客の誘致には、ネットや口コミとともに旅行会社の協力も重要である。「通さるく」、「学さるく」に旅行会社経由で参加した人は1万4千人を数え、さるくの名前は旅行会社へ浸透してきているように思われるが、旅行商品化の推進などによりコースの魅力をさらに全国へ発信し知ってもらう必要がある。

受入れ体制としても、参加者のニーズに合ったガイドの育成を図り、子供さるくにもみられるよう長崎さるくの裾野を広げることが重要であろう。

さるくは今、九州を中心に広がっている。元祖さるくのまちとして、さらなる発展が期待される。

(橋口 不二郎)

長崎さるくの取組み推移

項目		2004年度	05年度	06年度	07年度
課題・目標		まち歩きのシステム構築・検証	夏場のまち歩き等の検証	長崎さるく博'06の成功	通年型「長崎さるく」の構築
実施時期		2004プレイベント 32日間 10月23日～11月23日	2005プレイベント 79日間 7月30日～10月16日	長崎さるく博'06 212日間 4月1日～10月29日	通年
コース数	遊さるく	4コース	15コース	42コース	45コース
	通さるく	4コース	15コース	(通常) 28コース (限定) 3コース	(通常) 33コース (限定) 9コース
	学さるく	4テーマ	15テーマ	74テーマ	55テーマ
ガイド等	ガイド	97人	354人	325人	475人
	サポーター		110人	184人	
各年度の主な新規の取組み		<ul style="list-style-type: none"> ・コース設定 …4コース ・さるく茶屋設置 ・さるくガイド育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・コース設定 …遊さるく11コース追加 ・スタンプラリー ・さるく見聞館設置 ・通さるく手形販売 ・マップブック販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・コース設定 …遊さるく27コース追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・コース設定 …追加限定6コース ・遊さるく説明板設置 (166箇所) ・スタート等表示板設置 (89箇所) ・ガイド自主研究グループ設置 ・ガイドステーション変更 (出島等)

資料：長崎市さるく観光課

08年度	09年度	10年度	11年度（目標）
「長崎さるく」の定着と浸透	長崎さるく幕末編の成功	長崎さるく英雄編の成功	長崎さるくのリニューアルテーマ「祝5周年！愛あふれるまち歩き」
通年	通年 （幕末編は 4月23日～11月30日）	通年 （英雄編は 1月2日～12月26日）	通年
45コース	52コース	53コース	45コース
（通常）33コース （限定）20コース	（通常）36コース （限定）19コース	（通常）35コース （限定）23コース	（通常）29コース （限定）16コース
60テーマ	113テーマ	133テーマ	67テーマ
401人	454人	420人	450人
<ul style="list-style-type: none"> ・コース設定 …限定11コース追加 （帆船さるく、アジサイさるく、エコさるく、西坂殉教四列福者さるく、さるくマニアツアー等） ・ホームページリニューアル ・通さるくシールラリー（通年） ・学級レクレーションさるく（随時） ・入学メモリアルさるく ・ガイドステーション変更（南山手・東山手コース） ・池島炭鉱さるく再開 	<ul style="list-style-type: none"> ・コース設定 …通さるく3コース追加 （長崎幕末・維新の道を往く、日本回天の舞台・長崎を訪ねて、日本近代化の鼓動は長崎から） …遊さるく4コース追加 （長崎を駆け抜けた薩摩の偉人、同長州、同土佐、同肥前） ・幕末・龍馬をテーマとした学さるくの実施 ・タッチペンさるくの導入 ・幕末モニュメントの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・コース設定 …通さるく2コース追加 （ある晴れた日に龍馬が夢見た長崎居留地、日本一の清流と伝統的な町並み・神浦） ・坂本龍馬や岩崎弥太郎等の英雄をテーマとした学さるく等の実施 ・長崎龍馬の道を活用したまち歩き ・長崎まちなか龍馬館と長崎奉行所・龍馬伝館、亀山社中記念館等を回遊するさるくの実施 ・長崎さるく関連の企画・宣伝の市からコンベンション協会への移管 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊・通さるくコースの見直し・リニューアル ・新カテゴリー「食さるく」の追加 ・さるくホームページの改修（外国人向け） ・韓国人向けコースマップの作成 ・ナイトさるくの企画・実施 ・長崎夜景バスツアーの実施 ・学さるく・食さるく企画の募集強化および民間事業者等との連携強化